京丹後市制10年記念・丹後古代の里資料館秋季特別展示／但馬国府・国分寺館連携事業

丹後 vs. 但馬 －古代文物の徹底比較！－

2014. 9.13(土)～11.9(日)

同時開催！

但馬国府・国分寺館第８回特別展

「但馬vs.丹後－古代文物の徹底比較！－」

9月11日(木)～11月11日(火) 休館日：水曜日

但馬国府・国分寺館

住　所：豊岡市日高町祢布808　　電　話：0796-42-6111
ＵＲＬ：http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/
入館料：大人500円、高校生200円、小中学生150円
※丹後古代の里資料館の入館券提示で**半額**になります。

現在、豊岡市と京丹後市は、災害応援や企業誘致、ジオパークなどで相互協定を結ぶなど、連携を深めています。今回の展覧会は、豊岡市の但馬国府・国分寺館との連携事業として実施し、古代における丹後と但馬の歴史的・地域的な特性を明らかにするとともに、地域資源の価値を高めることを目的としています。

丹後古代の里資料館では、弥生時代中期から古墳時代中期にかけての但馬の重要な考古資料約100点を紹介し、常設展示室「丹後王国の世界」の内容と比較することにより、両地域の交流を考える内容とします。

袴狭遺跡（はかざいせき　豊岡市）

弥生時代後期～古墳時代前期と思われる線刻のある木製品が見つかっています。

一つは箱形木製品です。おそらく打楽器として用いられたもので、表面にはサケ・シュモクザメ・シカが線刻で描かれています。もう一つは、長さ197.3cm、幅16.2cmもある長い板に**ニゴレ古墳**（京丹後市）の船形埴輪のような大小16隻の準構造船を線刻したものです。

袴狭遺跡　箱形木製品（上）、サケの線刻部分拡大（中）、船団の線刻のある木製品（下）
（いずれも兵庫県指定文化財、兵庫県立考古博物館所蔵）

1. 弥生時代前期の但馬

駄坂・舟隠墳墓群（だざか・ふなかくしふんぼぐん　豊岡市）

丘陵上に造られた但馬で最も古い弥生時代前期末～中期初頭のお墓（墳墓）です。

墓のまわりには、溝をめぐらしており、方形周溝墓と呼ばれるものです。埋葬施設の木棺からは、石鏃や碧玉製管玉が出土しています。

駄坂・舟隠墳墓出土石鏃

駄坂・舟隠墳墓群（豊岡市立出土文化財管理センター提供）

丹後では、**七尾墳墓群**が弥生時代前期後半の台状墓として知られています。弥生時代中期の**豊谷墳墓群**（京丹後市）は、石鏃が出土している点などが**駄坂・舟隠墳墓群**と似ています。

2. 弥生時代中期の但馬

米里遺跡（めいりいせき　養父市）

段丘上に造られた弥生時代中期末の円形の溝をめぐらしたお墓（円形周溝墓）です。外径は9.5ｍに復元でき、組み合わせ式の石棺が見つかっています。ほかに但馬では、弥生時代後期前半の一辺12mの方形周溝墓が造られた**八木西宮遺跡**（養父市）があります。一方、丹後では、平野部に造られた周溝墓は知られていません。

米里遺跡（養父市教育委員会提供）

粟鹿遺跡（あわがいせき 朝来市）

溝をめぐらすのは周溝墓と同じですが、方形のマウンドの裾から斜面に石を貼ったものが方形貼石墓です。弥生時代中期～後期の近畿から中国地方に分布します。**粟鹿遺跡**の方形貼石墓は中期後半のもので、東西方向13.2ｍ、南辺溝16mを測る但馬で唯一のものです。

粟鹿遺跡（上２点：兵庫県立考古博物館提供）

丹後では**日吉ヶ丘遺跡・寺岡遺跡・千原遺跡**（与謝野町）、**難波野遺跡**（宮津市）、**奈具岡遺跡・小池墳墓**（京丹後市）、**志高遺跡**（舞鶴市）から弥生時代中期の方形貼石墓が見つかっています。特に**日吉ヶ丘遺跡**では、700点近い碧玉製管玉を副葬する一人埋葬であることから、この時期に権力者（王）が存在していたことがうかがえます。また水晶玉作りなどの工房として有名な**奈具岡遺跡**（京丹後市）もこの時期に活動しています。

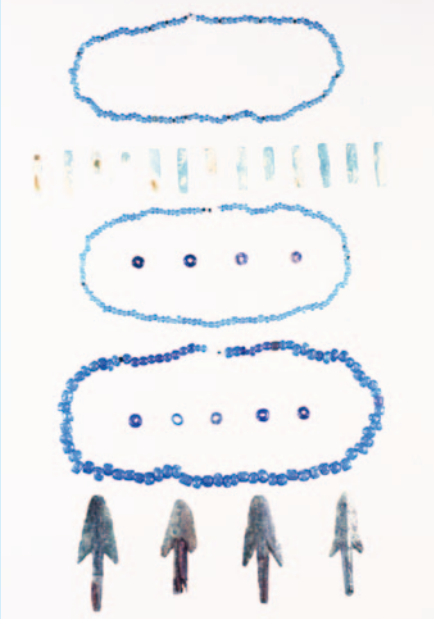
3. 弥生時代後期の但馬

東山墳墓群（ひがしやまふんぼぐん　豊岡市）

弥生時代後期の但馬は、丹後と同じように丘陵先端部の尾根筋に「方形台状墓」と呼ばれるお墓を造ります。

東山墳墓群は、尾根の高い側をカットして造られた弥生時代後期前半の墳墓です。西尾根の１・２号墓と東尾根の３・４号墓があり、40基あまりの埋葬施設がみつかっています。大半の木棺では、墓壙内破砕土器供献が見られ、ガラス玉398点、銅鏃４点、鉄鏃４点、ヤリガンナ８点などの副葬品が見つかっています。

東山墳墓群（豊岡市立出土文化財管理センター提供）



東山墳墓群出土遺物
（上・右ともに豊岡市立出土文化財管理センター所蔵）

梅田東墳墓群（うめたひがしふんぼぐん　朝来市）

弥生時代後期前半から中葉の土器棺墓１基と木棺墓17基が見つかっています。木棺は、H字形の組合せ式木棺が大半で、木棺内にはガラス粟玉・小玉・管玉、碧玉製管玉や鉄鏃・鉄剣などが副葬されていました。

また後期末から古墳時代初頭と考えられる10号墳は24m×16.5mの墳丘墓で、舟形木棺の第１主体部は頭部付近に朱が、両手首には手玉として使われたガラス小玉が出土しています。

梅田東10号墳第1主体部
（兵庫県立考古博物館提供）

梅田東墳墓群出土ガラス玉（兵庫県立考古博物館所蔵）

梅田東墳墓木棺墓群全景（兵庫県立考古博物館提供）

妙楽寺墳墓群（みょうらくじふんぼぐん　豊岡市）

弥生時代後期末葉の墳墓群です。80基あまりの埋葬施設が見つかっており、半数以上では墓壙内破砕土器供献が行われています。木棺内には、ガラス玉、鉄刀・鉄剣・鉄鏃・ヤリガンナ・鎌などを副葬しています。

鉄刀は全長94.5cmを測る国内最大級の長大なものです。ほかに鉄剣が8本見つかっている点が特徴的です。

妙楽寺墳墓群出土鉄剣
（豊岡市立出土文化財管理センター提供）

妙楽寺墳墓群全景（豊岡市立出土文化財管理センター提供）

田多地引谷墳墓群（ただちひきたにふんぼぐん　豊岡市）

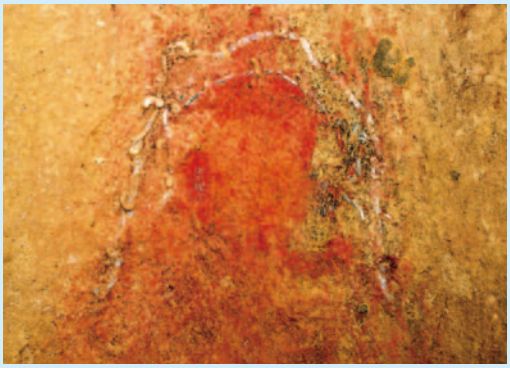
弥生時代の終末期から古墳時代前期にかけての墳墓群です。41基の埋葬施設が見つかっており、木棺・石棺があります。副葬品として五銖銭・珠文鏡・銅鏃などがあります。五銖銭は、中国前漢時代のお金で唐の時代に廃止されるまで流通しました。

妙楽寺墳墓群第2主体鉄製品出土状況
（豊岡市立出土文化財管理センター提供）

弥生時代後期の丹後では、但馬と同じように丘陵上に台状墓が造られ、有力者とその家族が葬られました。

その中には、木棺をおさめた墓壙の大きさがほかと比べて巨大なものが見られ、副葬品にも差が見られます。このようなお墓は、後期前半の頭飾りや素環頭鉄刀を副葬した**三坂神社墳墓群**（京丹後市）に始まり、後期中葉にはガラス釧・銅釧や鉄剣を副葬した**大風呂南墳墓**（与謝野町）、後期後半には頭飾りや鉄剣を副葬した**浅後谷南墳墓**（京丹後市）があります。

そして後期末葉の**赤坂今井墳墓**（京丹後市）は、方形の巨大なマウンドをもつ墳丘墓で、中心の第1埋葬施設の木棺を巨大な墓穴に納める点や、第4埋葬から見つかった中国の顔料「漢青」を含むガラス管玉などを用いた豪華な頭飾りなど、当時の弥生墳墓の中では隔絶した内容をもっています。また口縁部に擬凹線文を施した丹後系の土器の広がりなどから見て、**赤坂今井墳墓**に眠る被葬者は、丹後のみならず、但馬・丹波までを含む広い地域を治めた有力者と考えられます。



赤坂今井墳墓全景と第4埋葬頭飾り

4. 古墳時代前期の但馬

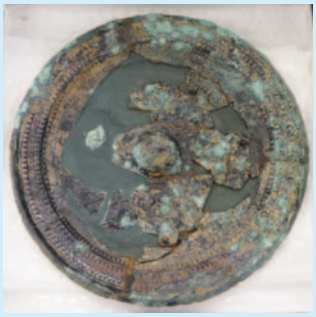
鎌田若宮3号墳（かまたわかみや3ごうふん　豊岡市）

丘陵上に造られた長辺17～19mを測る長方形の古墳です。第１主体部上にお供えされた土師器には、東海西部のパレススタイルと呼ばれる装飾壺、山陰系の鼓形器台のほか注口土器・鉢・高杯・器台といった多くの種類のものが見られます。但馬の古墳時代の幕開けを示すものの一つです。

鎌田若宮3号墳出土土師器
（豊岡市立出土文化財管理センター所蔵）

森尾古墳（もりおこふん　豊岡市）

大正６（1917）年に発見された古墳で、３基の石室が見つかっています。出土遺物には、３面の銅鏡のほか鉄鎌・鉄斧・ヤリガンナ・鉄鏃、銅鏃、玉類があります。鏡のうち１面は、中国新王朝の時代に作られた唐草文縁方格規矩鏡、１面は正始元年（240年）の銘がある三角縁神獣鏡です。正始元年鏡は、群馬県蟹沢古墳と山口県御家老屋敷古墳のものが知られています。但馬北部の有力者を葬った最古の首長墳と考えられます。



正始元年銘三角縁神獣鏡
（京都大学総合博物館所蔵）

森尾古墳現状（豊岡市指定史跡）

若水古墳（わかすこふん　朝来市）

丘陵上に造られた径41m、高さ５mを測る円墳です。木棺を納めた二つの埋葬施設が見つかっています。

第１主体部の木棺は、小口部分に積石が置かれており、飛禽文鏡と連弧文鏡のほか、ヤリガンナ・鉄針、漆塗りの木製合子が副葬されていました。第２主体部の木棺は、小口部分のほか長側板側にも側板を押えるための積石があります。また棺の底には板石が敷き詰められていました。**森尾古墳**の時期に近い、但馬南部の有力者を葬った首長墳です。

若水古墳全景と埋葬施設（兵庫県立考古博物館提供）

若水古墳飛禽文鏡（左）と連弧文鏡（右）（兵庫県立考古博物館所蔵）

向山2号墳（むかいやま2ごうふん 朝来市）

丘陵上に造られ溝によって区画された10.6×6.5mの長方形墳です。3つの埋葬施設のうち竪穴式石室には、4つに割られた内行花文鏡とヤリガンナ2点が副葬され、墓壙内には土師器壺2個が据えられていました。残された人骨から被葬者は熟年女性と考えられています。

向山2号墳の竪穴式石室（上）と出土遺物（下）
（兵庫県指定文化財、兵庫県立考古博物館所蔵）

入佐山3号墳（いるさやま3ごうふん 豊岡市）

丘陵上に造られた36×23mの長方形の古墳です。埋葬施設の木棺は二つあり、そのうち一つには方格四獣鏡・四獣鏡、玉類、鉄鏃・鉄斧・鉄刀・鉄槍のほか、砂鉄が副葬されていました。

城ノ山古墳（じょうのやまこふん　朝来市）

※但馬国府・国分寺館展示

前期後半の南北径30m・東西径36m・高さ5mを測る円墳です。埋葬施設の木棺には、3面の三角縁神獣鏡ほかの鏡、石製模造品、鉄刀など鉄製武器・農耕具が副葬されていました。**池田古墳**出現前の但馬の有力者の墓です。

城ノ山古墳出土品（重要文化財、朝来市教育委員会所蔵）

池田古墳と城ノ山古墳（朝来市教育委員会提供）

古墳時代前期の丹後は、後漢鏡をもつ3世紀中葉の**大田南2号墳**（京丹後市）と青龍三年銘（235年）の方格規矩四神鏡をもつ3世紀後半の**大田南5号墳**（京丹後市）に始まります。いずれも一辺20mほどの小さな古墳です。

4世紀中葉には、鍬形石・車輪石・石釧や筒形銅器をもつ**カジヤ古墳**（京丹後市）、この時期にはまだ少ない全長90mの前方後円墳の**白米山古墳**（与謝野町）が出現します。そして4世紀中葉～後半には全長145mの**蛭子山古墳**（与謝野町）、4世紀後半には全長198mの**網野銚子山古墳**（京丹後市）、4世紀末～5世紀初頭には**神明山古墳**（京丹後市）の「丹後三大古墳」が出現します。その規模や独自の「丹後型円筒埴輪」の樹立などから、日本海を通じた交易の玄関口として丹後が重視されたといえます。

網野銚子山古墳（左）と丹後型円筒埴輪（右）

5. 古墳時代中期の但馬

池田古墳（いけだこふん 朝来市）

５世紀前半の全長141mを測る但馬を代表する巨大前方後円墳です。平成20～22年の墳丘造り出し付近の調査により、外堤、周濠、渡り土手、造り出しが確認されています。墳丘からは葺石・円筒埴輪列、周濠からは水鳥形埴輪・木製埴輪が見つかっています。

池田古墳全景（右上）、東周濠全景（左）、
西周濠全景（右下）（兵庫県立考古博物館提供）

茶すり山古墳（ちゃすりやまこふん 朝来市）

※但馬国府・国分寺館展示

径90m・高さ18mを測る巨大な円墳で、**池田古墳**に続く５世紀前半～中葉の古墳です。

山陰に分布する棺内礫床をもつ第１埋葬施設の木棺には、銅鏡３面、鉄製農耕具、刀・鉄鏃、革製の盾、甲冑類など多くの武器・武具類（重要文化財）が副葬されています。襟付の甲冑は、畿内でもごく限られた古墳からしか見つかっていないことから、茶すり山古墳に葬られた有力者の力の大きさが想像できます。

茶すり山古墳の埋葬施設（右、兵庫県立考古博物館提供）と現状（左）

梅田１号墳（うめた1ごうふん 朝来市）

丘陵上に造られた一辺20～28mほどの不整形な古墳です。埋葬施設の木棺には、銅鏡、琴柱形石製品、玉類、鉄製農耕具、竪櫛などが副葬されていました。**池田古墳**や**茶すり山古墳**に近い時期のため、両古墳に葬られた有力者を支えた人物の古墳と考えられます。

梅田1号墳出土四葉乳文鏡（左）と土器・玉類（右）（兵庫県立考古博物館所蔵）

柿坪遺跡（かきつぼいせき　朝来市）

茶すり山古墳とほぼ同時期の床面積200㎡を超える大型の掘立柱建物群が見つかっています。建物跡は、庇や棟持柱をもつ建物が整然と並んで見つかっており、豪族居館と呼ばれるものです。

建物群が造られる直前の５世紀前半には、韓式土器や、甑・移動式竈・角杯形土器などが出土しており、丹後・但馬地域の中でもっとも早く渡来系の生活文化が取り入れられた遺跡です。

柿坪遺跡の大型掘立柱建物群（２点ともに兵庫県立考古博物館提供）

但馬の有力者は、この後、全長80ｍの前方後円墳である**船宮古墳**（朝来市）に引き継がれます。

「丹後三大古墳」の後、古墳時代中期の丹後は、**神明山古墳**に続く有力者のお墓として、5世紀前半の全長105mの前方後円墳である**黒部銚子山古墳**（京丹後市）があります。

しかし5世紀中葉に入ると直径55mで長持形石棺を埋葬施設とする**産土山古墳**（京丹後市）、直径20mほどの不整形な円墳で甲冑や船形埴輪が出土した**ニゴレ古墳**（京丹後市）、43×34mの方墳と思われ長持形石棺をもつ**離湖古墳**（京丹後市）が見られるのみとなり、大型の前方後円墳は造られなくなります。

但馬の**池田古墳**は、**神明山古墳**または**黒部銚子山古墳**と、**茶すり山古墳**は**産土山古墳**とほぼ同じくらいの時期と考えられます。古墳時代中期に入ると、弥生時代中期ころから相対的に優位であった丹後よりも、但馬の方が優位になったと考えられます。

産土山古墳の長持形石棺

本展覧会の開催にあたり、下記の関係者の皆さまにお世話になりました。記して感謝します（五十音順、敬称略）

朝来市埋蔵文化財センター　京都大学総合博物館　古代いずし学習館　但馬国府・国分寺館
豊岡市立出土文化財管理センター　兵庫県立考古博物館　養父市教育委員会
加賀見省一　潮崎　誠　篠宮　正　妹尾裕介　田畑　基　谷本　進　前岡恵美子　前岡孝彰

京丹後市制10周年記念、平成26年度丹後古代の里資料館秋季特別展示、
但馬国府・国分寺館連携事業　「丹後VS但馬－古代文物の徹底比較－」

編集・発行　京丹後市立丹後古代の里資料館

〒627-0228　京丹後市丹後町宮108　TEL 0772-75-2431　FAX 0772-75-2432
http://www.city.kyotango.lg.jp/museum/kodainosato/　E-mail:tango-kodai@mxc.nkansai.ne.jp